会議録要旨

- 1 会議名 令和4年度 第1回さぬき市再生可能エネルギー導入計画検討会議
- 2 日 時 令和4年11月28日(月)14:00~16:00
- 3 場 所 さぬき市役所本庁 附属棟多目的室
- 4 出席者 (出席委員)

古川委員 尾﨑委員 向井委員 津田委員 谷委員 (事務局)

市民部 山下部長

市民部生活環境課 山下課長 大生課長補佐 長野主事

- 5 傍聴者 なし
- 6 会議次第 1開会あいさつ
 - 2 さぬき市再生可能エネルギー導入計画検討会議について
 - 3 自己紹介
 - 4委員長・副委員長の選任について
 - 5議事
 - (1) 工程表について
 - (2)市民・事業者アンケート調査について
 - (3) 再生可能エネルギー導入計画(骨子案)について
 - 6その他
 - 7閉会あいさつ

7 議事の経過及び発言要旨

7 議事の経過及び発言要旨	
	< 開 会 > (14:00)
事務局	本日は、ご 多 忙にもかかわらず、ご出席いただきありがとうございます。 ご案内の時間が参りましたので、只今より、令和4年度第1回さぬき市再生可能エネルギー導入計画検討会議を開会いたします。
	はじめに、委員の皆様に本会議の委嘱状及び任命書をお席の方にお配りしておりますので、ご確認をお願いいたします。
	なお、本日の会議につきましては、概ね2時間を予定しております。時間に限りは ございますが、忌憚のないご意見をお願いしたいと思います。
	まず、本会議の公開についてですが、さぬき市付属機関の委員の構成及び会議の公開に関する指針及びさぬき市情報公開条例に照らし、この会議を公開としたいと思いますが、如何でしょうか。
委員	<異議なし>
事務局	それでは、本会議を公開とすることとします。

事務局

次に、本検討会議について、ご説明させていただきます。

<事務局説明>

事務局

次に、議題に入ります前に、皆様、今日が初めての顔合せでありますので、各委員より簡単に自己紹介をお願いします。

<各委員の自己紹介>

次に、事務局より自己紹介をさせていただきます。

<事務局の自己紹介>

事務局

次に、委員長・副委員長の選任を行いたいと思います。

互選で決めたいと思いますが、事務局といたしましては、委員長に古川委員、副委員長に尾﨑委員にお願いしたいと思いますが如何でしょうか。

委員

<異議なし>

事務局

ありがとうございました。それでは、委員長には古川委員、副委員長には尾崎委員 にお願いいたします。

それでは、委員長と副委員長にご挨拶をお願いします。

<委員長・副委員長の挨拶>

事務局

ありがとうございました。それでは、さぬき市再生可能エネルギー導入計画検討会 議設置要綱に沿って、これより、議事の進行は、古川委員長にお願いしたいと思いま す。

委員長

では、はじめに議事(1)「工程表について」を議題とし、事務局から説明をお願いします。

事務局

<資料1に基づき説明>

委員長

只今の説明に対して、質問やご意見はありませんか。

委員長

質問が無いようであれば、続いて議事(2)「市民・事業者アンケート調査結果について」を議題とし、事務局からの説明をお願いします。

事務局

<資料2に基づき説明>

委員長

只今の説明に対して、質問やご意見はありませんか。

委員

市民アンケート問1で回答者の70歳以上が最も多くなっていますが、年代別の抽出方法はどのようにしたのでしょうか。

事務局

年齢構成の人口按分に応じて、抽出しています。

委員

カーボンニュートラルとクールチョイスの認知度について、クールチョイスの認知度が低くなっていますが、他の自治体でも同様の傾向にあるのでしょうか。

事務局

そのような傾向にあると思います。カーボンニュートラルという言葉は企業がテレビコマーシャルなどを通じて取り組むことを公表していることから、認知度がクールチョイスよりも高くなっている可能性があります。今年からクールチョイスをゼロカーボンアクション30という言い方に置き換え、30項目について市民目線に立ちわかりやすい表現で取り組んでもらおうという取組も始まっています。

委員長

クールチョイスの具体的な取組とはどんなものがありますか。

事務局

「賢い選択」という意味であり、行動する際には、有効な取組について考えた上で取り組むことであり、簡単なところでは、照明はこまめに消す、空調の温度は適正な温度に設定する等の取組を市民の皆さんに知ってもらい、それによりどれだけ二酸化炭素が削減できるか等をホームページに掲載して広めていこうという内容になっています。

委員

事業者アンケート6頁、問16で「太陽光発電システムを導入していますか」との 問いに対して、導入しているのは8人というのはどういうことでしょうか。

事務局

全部で42の回答の内8つの事業者が導入していると答えています。回答数の単位が(人)になっているため(社)に修正します。

委員

PPA事業など聞きなれない言葉が出てきていますが、アンケートには説明があったのでしょうか。

事務局

はい。今回の資料の用語の説明のほうにも載せていますが、アンケートにも同様に 解説した上で回答をお願いしています。

委員

それと脱炭素とカーボンニュートラルは意味合いが違うと思います。カーボンニュートラルは排出される二酸化炭素をどういう風に抑制していくかという事で、アンケートの自由意見にもあったように、カーボンニュートラルに向けて、太陽光発電ありきの決め打ちした設問になっている傾向にあるように思います。太陽光発電はあくまでもカーボンニュートラルに向けた様々な手法の一つであり、省エネ、ごみ抑制や地産地消を行った場合どの程度削減でききるのか、それを踏まえた上で太陽光発電などを検討してはどうでしょうか。アンケート結果を踏まえて計画を作るのも分かりますが、アンケートの内容が全てではなく、多面的に施策を検討していく必要があると思います。補助金も太陽光パネルの設置に対してのみ出すのか、幅広く協力してもらうという意味で業者への補助金も捻出するのかなど、様々な施策を考えていかないと進まないのではないでしょうか。

委員長

市民アンケートの自由意見では、太陽光発電ありきというふうに思われている意見が何件かあります。太陽光発電は施策の一つであり、他にも選択肢があるという事を示す必要がありますし、太陽光発電ありきの考え方にならないよう検討していかなければと思います。

委員

例えば、近隣スーパー等へは車を使わず、自転車やコミュニティバスを使うことに

より二酸化炭素の削減に繋がるなど、太陽光発電以外でも農林水産業なども含めて施策はたくさんあるので勘違いされないようにする必要があると思います。アンケートの5ページに取組項目がありますが、これが全てではなく取組の一部であると思います。

委員

事業者アンケート問1で、業種別の回答者が建設・工事・工業・製造業が最も多くなっていますが、業種別の抽出方法はどのようにしたのでしょうか。

事務局

事業所登録数を按分して配布しています。また、農業者については法人化している 事業所を対象としています。

委員長

他にご質問はありませんでしょうか。

ないようであれば、続いて議事(3)「再生可能エネルギー導入計画(骨子案)について」を議題とし、事務局からの説明をお願いします。

事務局

<資料3に基づき説明>

委員長

只今の説明に対して、質問やご意見はありませんか。

委員

来年度、地球温暖化対策実行計画を策定予定ですが、なぜこの再生可能エネルギー 導入計画を今年度策定するのでしょうか。

事務局

来年度に策定予定の地球温暖化対策実行計画(区域施策編)は法律に定められており、ゼロカーボンシティの実現に向かって計画策定する2050年までの全体的な未来予想図となるものですが、今回の再エネ導入計画は、本市において再エネの部分でどれだけの導入ポテンシャルがあり、どれだけの目標を設定すれば二酸化炭素の排出量を下げることができるのかを検討するもので、来年度の地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定する上での基準を探っていく計画となります。

委員

さぬき市の人口は2050年には減っていて、人口減少に伴い二酸化炭素の排出は相当減ると思われますが、それも加味した計算となっているのでしょうか。

事務局

市の人口ビジョンを基に人口減少を想定したものとなっています。

委員

脱炭素シナリオをみても2050年にゼロカーボンは達成できていないが、森林吸収量を増やす事で、2050年に排出量ゼロにすることは可能かと思います。県では森林吸収量は80千t-CO2、高松市では34千t-CO2ほどとなっています。

事務局

提示している温室効果ガス排出量は森林吸収量を加味していません。2050年に排出量をゼロにするには、脱炭素シナリオの2050年排出量の84.1千t-CO2を、再エネの導入と森林の吸収量によって減らしていく事が必要であります。さぬき市では森林による吸収量は14,000t-CO2となっています。

委員

2050年までとなるとスパンが長いのではないでしょうか。計画の見直しや進捗 管理はするのでしょうか。また、太陽光パネルの耐用年数が過ぎた場合のパネルの処理についてどう考えていくのでしょうか。

事務局

計画の見直しについては、5年ごとに見直していく予定としており、進捗管理については、来年度の実行計画ができた時点で進捗管理を行っていきたいと考えていま

す。また、太陽光パネルの廃棄問題やリサイクルについては、施策の中でお示しした いと考えています。

委員

建築物省エネ法について、太陽光パネルを付けるにも建ぺい率などの問題等あります。また、工場立地法では、緑化面積が20%以上、市では15%以上に定められています。省エネ法には詳しく書かれていないのですが、情報があれば、企業誘致の方針や企業の設置促進にもなるため計画の中に入れてはどうでしょうか。

事務局

一部の情報では、国が合理化計画を作るためのマニュアルを今後作成すると聞いています。そこには建ペい率などもマニュアル化し具体的な数値も記載されるのではないでしょうか。建ペい率については緩和されるような話も聞いていますし、今後情報があれば報告させていただきます。

委員長

他にご質問はありませんでしょうか。 ないようであれば、事務局から、「その他」として何かありますでしょうか。

事務局

次回の検討会議の予定ですが、来年1月に第2回検討会議を予定しています。

委員長

それでは以上で、第1回さぬき市再生可能エネルギー導入計画検討会議を閉会します。本日はありがとうございました。

<16:00 閉会>